

忘れられない 2011 年

～ M Jが選ぶ今年の重大ニュース

残りわずかになった2011年は、誰にとっても忘れられない年となりそうだ。今年は「災害」「事故」「民主化運動」「経済問題」「地球環境」などがキーワードであろう。3月11日の東日本大震災と東京電力福島第一原発事故は、われわれ農業界だけでなく、日本の社会全般に甚大な影響を与える事となった。色々と問題の多かった1年だったが、「なでしこジャパン」のW杯優勝は、沈みきった日本を最後まで諦めてはいけないと元気づけてくれる奮闘ぶりで、若者や女性の頑張りは多くの人々に将来への希望の光を灯したといっても過言ではない、明るいニュースだった。

そして、日本人が突然の大災害にも拘らず沈着冷静に行動し、お互い助け合い、支えあう姿が世界中に報道され、日本人の気質、文化が内外であらためて見直され、尊敬された年でもあった。

大晦日まであと僅か、今年を振り返ってみると、余りにも色々なことが世界や日本であり過ぎ、到底10には収まらず15も挙げてしまった。更に、同じような順位のものも複数あるが、大企業や省庁へのサイバー攻撃、COP17、 아이폰 (iPhone) の爆発的普及、スティーブ・ジョブズさん死去、野田政権誕生、大阪ダブル選で「大阪都」構想の橋下氏らが当選、オウム裁判終結、来年はどの様な重大ニュースが並ぶだろうか。明るいニュースを期待したい。

農業関連の重大ニュース

さて農業関連の重大ニュースをあげてみたい。やはり原発事故による放射能問題が最大のニュース。恐らくこれほど広範囲、且つ長期間に亘り生産者はもちろんのこと、農業関連の方に影響を与えた災害は戦後なかったといえる。特に地元福島の方々のご苦労は風評被害もあって9ヶ月経った今も続いており、避難地域だけでなく一部地域では来年の作付制限も続くとあって、なかなか将来展望が開けない状況にある。来年こそ、このようなご苦労が少しでも和らぐことを願ってやまない。

コメの世界では、作況は101とまずまずであったが、放射能問題も影響して流通段階での品薄感が顕著となり前年にくらべ高値で取引が続いた年となった。新たに導入された先物市場がどのようになっていく

(次ページへ続く)

2011年重大ニュース

1位 東日本大震災発生
2位 福島原発で高濃度放射能
3位 なでしこジャパンが世界一
4位 中東各地に広がった民主化運動「アラブの春」 カダフィ大佐が死亡
5位 タイ、洪水で甚大な被害
6位 欧州の財政危機の拡大
7位 反格差社会デモ「ウォール街を占領せよ」
8位 歴史的円高 1ドル75円台
9位 アナログ放送終了、地デジ移行
10位 ヒンラディン容疑者殺害
11位 北朝鮮総書記、金正日死去
12位 中国が日本を抜き、世界第2位の経済大国に
13位 世界人口が70億人突破
14位 中国高速鉄道事故
15位 大相撲八百長問題-3月場所中止

農業関連重大ニュース

1位 原発事故による農産物の放射能汚染関東 東海まで広がる
2位 原発事故による風評被害
3位 TPP交渉参加表明
4位 肥料原料、食料価格が世界的に上昇、高止まり
5位 暫定基準値で農産物や牛肉、稲わら、肥料の出荷制限
6位 コメ先物市場創設、一方コメ市況の品薄で高値
7位 戸別所得補償制度の本格実施
8位 台風12号15号、集中豪雨による被害甚大
9位 各地で被災地を支援する農産物即売会
10位 レタス9月の市場価格暴騰

か、今後の展開に注目したい。また年末に近づいて話題となったのがTPP交渉参加をめぐるの問題。最終的に政府は交渉参加の意向を表明したが、いうまでもなく国内農業には大きく影響を与える交渉となるので成り行きに注目したい。

これは、当紙が独断で選んだ重大ニュースである。他にも各地で多くの明るいニュースがあったであろう。来年は明るい農業ニュースを纏めたい。

セシウム食品規制を強化へ...一般食品100ベクレル

厚生労働省は、食品に含まれる放射性セシウムの新たな規制値を、粉ミルクなどの「乳児用食品」や「牛乳」は今の暫定規制値の4分の1にあたる1キログラムあたり50ベクレル、一般食品(コメなど)は5分の1の同100ベクレル、飲料水を20分の1の同10ベクレルと大幅に厳格化。22日の薬事・食品衛生審議会で公表し、来年4月からの導入を目指す。新規規制値は、食品について1キログラムあたり1200ベクレルを指標とする米国や、同400~1250ベクレルとする欧州連合(EU)と比べると相当に厳しい。コメなど、前年の収穫物を貯蔵し市場に出している食品は、暫定規制値を適用するなど一定の経過措置期間を設ける方針。

また、福島県産のコメから10月以降、制限対象区域外で収穫されたコメから暫定規制値を超える放射性セシウムが検出された問題で、農水省は26日、2012年のコメの作付け制限の対象範囲を広げる方針を固めた。上記、厚生労働省の新規制値案を踏まえた措置で、コメ1kg当たり100ベクレルを超える可能性が高い地域について検査の手法・密度を見直し検討する。これまで1度でも同セシウムが検出された29市町村の稲作農家2万5000戸が作ったコメについて、来年2月までに全戸調査し、結果を来春のコメの作付け制限に反映させる方針。

食品に含まれる放射性セシウムの新しい規制値

食品	暫定規制値	新規規制値
野菜類		一般食品 (乳製品を含む) 100
穀類	500	
肉・卵・魚・その他		飲料水 10
飲料水		牛乳 50
牛乳・乳製品	200	乳児用食品 50

※単位はベクレル/kg

世界農業遺産」新潟県の佐渡と、石川県の能登を認定

国連の食糧農業機関(FAO)は2002年に「世界農業遺産」の認定制度を立ち上げ、今年6月には新潟県の佐渡と、石川県の能登を認定しました。「世界農業遺産」は、ユネスコの文化遺産や自然遺産に比べて目新しく余り知られていません。「世界農業遺産」は、環境を生かした伝統的農法や、生物多様性を守っている土地利用システムを世界に残す目的で創設され、主に途上国への支援策となっています。

日本は先進国で初めて認定を受け、すでに認定された遺産は中印、南米などに多く、佐渡はトキが棲める豊かな生態系を維持した里山や生物多様性を保全する農業の姿が認められました。能登は里山・里海に守られてきた持続的な農林水産業と、一体的に保存されてきた伝統的な農村文化の姿が評価されました。



保れた里山景観

本年も当紙をご愛読頂きまして、誠に有難うございました。今年は震災や自然災害などで厳しい一年となりましたが、来年は皆様にとって良い年になります事を心よりお祈り申し上げます。ますます寒さが厳しくなって参りました。ご自愛頂き、どうぞ良いお年をお迎え下さい。

編集局長：小田原次洋 アシスタント：寺田、助川

電話：03-5275-5511/E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL http://www.mcagri.jp